

2022 年 3 月 31 日（木）

2021 年度 学校関係者評価シート

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

《評価委員》

北田委員（きただ治療院） 福末委員（古都治療院） 山内委員（やまうち治療院）
丸尾委員（堂阪医療器製作所） 山下委員（ハリリア京都）
小林委員（学校長） 岩崎委員（事務部長） 松尾委員（副校長補佐）

《評価区分》

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普 通
2 適切にややかける 1 適切でない N A あてはまらない

評価項目		評価
基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	高い理念のもと遂行されている。 また、医療人を養育するにとどまらず、人間力の向上にも取り組んでいることが評価できる。
基準 2 学校運営		
2-2	運営方針	法人評議委員会、理事会において承認された事業計画及び予算に基づいて運営され、尚且つ学校関係者評価委員に意見・評価を求めることは評価できる。
2-3	事業計画	事業計画書を定め、課題解決策を図っているのは評価できる。次年度は臨床実習も増える可能性があるので、臨床実習協力者の広報活動も進めてもらいたい。
2-4	運営組織	特に問題なし。
2-5	人事・給与制度	客観的かつ公平に実施されていると考える。
2-6	意思決定システム	評議委員会、理事会、学校運営会議、教務会議、教員連絡会議が行われ意思決定システムは構築されている。
2-7	情報システム	教員 1 名あたり、実際には PC2 台提供されており、テレワークやオンラインに充分対応できる状態は、大変評価に値する。 また、職員室の机にアクリルボードやサーキュレーターを設置して感染予防の対策も大変評価できる。

基準 3 教育活動			
3-8	目標の設定	実技において、教育到達レベルを明確にするのは難しいと思えるが、その目標をシラバスに明示するのは大変有意義なことだと思える。	5
3-9	教育方法・評価等	教育課程編成委員や学校関係者評価委員から意見聴取や外部講師の講演などは評価できる。今後は更に生徒の興味がある分野の授業を増やしたり、国家試験対策だけではない魅力的で専門的な授業も求められるものと思われる。	4
3-10	成績評価・単位認定等	試験の難易度が担当者によって違うのは、実技においてはある程度は仕方がないと思われる。コロナ禍ではあるが、学術大会でのオンライン発表などは大変意義深いものとする。	5
3-11	資格・免許の取得の指導体制	今年はオンデマンド方式とハイブリット形式による国家試験対策も実施をされており、通常受けることの難しかった夜間部生徒も受講可となったことは高く評価できる。国家試験に合格できなかった生徒へのフォローを引き続き、行っていただきたい。	5
3-12	教員・教員組織	多方面から教員及び講師の先生を招いての授業は評価できる。	5
基準 4 学修成果			
4-13	就職率	実際の就業は卒後になり、把握は難しい側面があるが、求人公示や教員の方々の尽力により就職を促す体制はしっかりなされている。さらに就活サイトの周知を積極的に進め、就職率アップを目指していただきたい。	5
4-14	資格・免許の取得率	国家試験の問題に対して研究なされ、学生が一定の努力と理解をした者は合格しており、そこから考えると十分な免許取得率に繋がっている。引き続き合格率 100%を目指していただきたい。	4
4-15	卒業生の社会的評価	各都道府県の県師会、特に京都においては優秀な卒業生が多数在籍し、また就業が長く続いている方は一定の社会的評価を得ていると考えられる。 同窓会「洛仁会」の更なる発展に期待する。	4
基準 5 学生支援			
5-16	就職等進路	求人・就活支援サイトの導入など、支援は行われている。 卒後も就活支援サイトが利用できる点も評価できる。	5
5-17	中途退学への対応	オンデマンドになり勉強のモチベーションを保つのが難しいとの声を聞く。勉強についていけず退学してしまう生徒が増えているので、しっかりした対策が必要かと考える。 奨学金制度は生徒のやる気につながるので評価できる。今年度よ	4

		リスクールカウンセラーのサポートを持てるようになり、怠学防止にとってもよい取り組みであると評価できる。	
5-18	学生相談	担任、教務部、事務部と連携を取りながら対応が行われていると思われる。	5
5-19	学生生活	高等教育無償化制度の対象校となるなど、積極的に経済的支援にも積極的に取り組んでいる。	5
5-20	保護者との連携	保証人への成績・出席状況等を通知していることは、生徒の状況を早期に把握でき対応できるので望ましい。	5
5-21	卒業生・社会人	卒業生は有能な鍼灸マッサージ師として活躍されている。 また、卒後研修を積極的に進められていることも評価できる。	4
基準 6 教育環境			
6-22	施設・設備等	しっかりとコロナ対策も行われており評価できる。また設備の充実を図っていることも評価できる。	5
6-23	学外実習、インターンシップ等	コロナで課外授業をしにくくなっているが、貴重な体験になるので、一部オンラインでも出来ることは実現を期待する。 また、手技交換会・解剖学実習見学・上海研修などの再開を期待する。	4
6-24	防災・安全管理	避難経路の周知が望まれる。また今後、東南海地震などの災害に対しても避難できるように引き続き検討いただきたい。	4
基準 7 学生の募集と受入れ			
7-25	学生募集活動は、 適正に行われているか	オープンキャンパスや高校等学校への働きかけ、ネットを活用するなど状況に応じて適正になされている。 オンラインオープンキャンパスで遠方の参加者が利用できている点も評価できる。	4
7-26	入学選考	選考基準を明確にして、適切に運用されているので評価できる。	5
7-27	学納金	他校と比べても適切な算定額だと思われる。また、独自の奨学金制度が設定されていることも評価できる。	5
基準 8 財務			
8-28	財務基盤	適切な構築及び実施がされていると思われる。	5
8-29	予算・収支計画	適切な策定、管理が行われていると思われる。	5
8-30	監査	適切に監査が行われていると思われる。	5
8-31	財務情報の公開	財務情報の閲覧を希望する者に公開しているのは評価できる。	5
基準 9 法令等の遵守			
9-32	関係法令、設備基準等の遵守	関係法令を遵守し、適正な学校運営が行われていると思われる。	5
9-33	個人情報保護	個人情報に関して、平時施錠・データ等の学外への持ち出しを禁止するなど適正に管理されていると思われる。	5
9-34	学校評価	自己点検・評価委員会を設置しており、評価できる。	5

9-35	教育情報の公開	シラバス・成績評価方法などをホームページに公表されていて評価できる。	5
基準 10 社会貢献・地域貢献			
10-36	社会貢献・地域貢献	臨床室の利用を含め問題はないと考える。コロナ禍が収まれば、鍼・灸・マッサージの無料体験の実施を希望する。	5
10-37	ボランティア活動	コロナ禍で実施は難しい状況であるが、平素は京都マラソンや専門学校球技大会で実施なされているおり、評価できる。	5